

神戸

# 支援の必要性再確認

## 各国の大災害

外国人留学生や在日外国人が、国際的な見地から意見を発表する「世界の若者会議」が24日、西宮市高松町の兵庫県立芸術文化センターであった。阪神・淡路大震災から15年を迎えた今年には「若者の視点から国内外の大災害への貢献を考える」がテーマで、パキスタンや中国など、大災害に見舞われた国の留学生らが、祖国の被害や復興状況について報告した。

NPO法人「国際教育文化交流協会」(神戸市)の主催で、12回目。2004年のスマトラ沖地震、05年のパキスタン地震、08年の中国・四川大地震について、それぞれスリランカ、パキスタン、中国の出身者が話した。

## 西宮でシンポ 留学生ら被害や復興報告



ハマドさんが報告。死者は8万人以上で行方不明者数は把握できず、「いまだにがれきの下から遺体が見つかる」と説明。日本からの寄付約130万円で学校や仮設住宅が建設されていることなども話した。

(上杉順子)

パキスタン地震の被害について報告する元神戸大留学生＝兵庫県立芸術文化センター

22年)1月25日(月曜日)

言説 (読者)

# 大災害への貢献若者討論

### 各国留学生ら 学校再建など成果報告

西宮

外国人留学生の支援に取り組む「国際教育文化交流協会」(神戸市)は24日、西宮市の県立芸術文化センターで、国内外の若者が、大災害に対してどう貢献するかを話し合う「世界の若者会議」を開いた。阪神大震災からまる15年と協会設立20年を記念した催しで、シンポジウム、チャリティコンサートに約600人が参加した。

シンポジウムでは、各国の留学生らが、海外の大震災の状況などについて語った。パキスタン人の元留学生は、2005年のパキスタン地震とその後の復興支援について報告。震源地近くの北部では壊滅的な被害を受けたが、日本で

常勤社員 平日の家探し **30%** ウィル  
社仲介手数料 キヤッシュバック  
株式会社 0120-4919-30

った。パキスタン人の元留学生は、2005年のパキスタン地震とその後の復興支援について報告。震源地近くの北部では壊滅的な被害を受けたが、日本で  
コーディネーターを務めた浅野寿夫・神戸学院大教授は「世界では大規模災害が相次いでおり、復興まで若者が中心となった国際的な支援活動が求められている」と話した。  
コンサートでは、タンザニアの音楽やポリビアの民族舞踊などが披露され、観客らから盛んに拍手が送られていた。